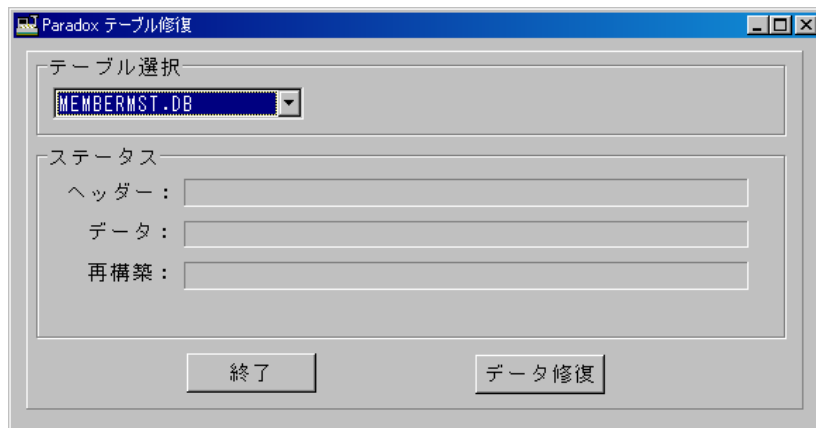


## 顧客データ修復手順①

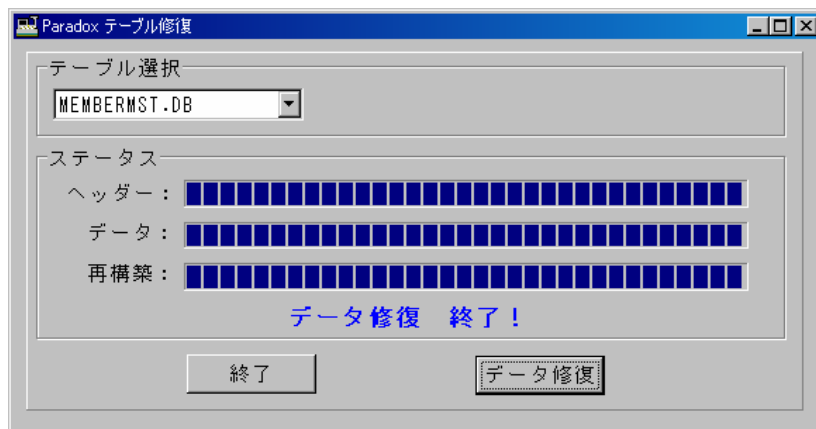
\*これらの作業を行う間は全てのパソコンのレジ画面を終了して下さい。

\*これらの作業中は顧客の登録は行わないで下さい。

開始メニュー → F9メンテナンス → F3データベース → F8テーブルヘッダ修復



テーブル選択で「MEMBERMST.DB」を選択して「データ修復」を押して下さい。  
終了すると**修復終了の表示**がされます。



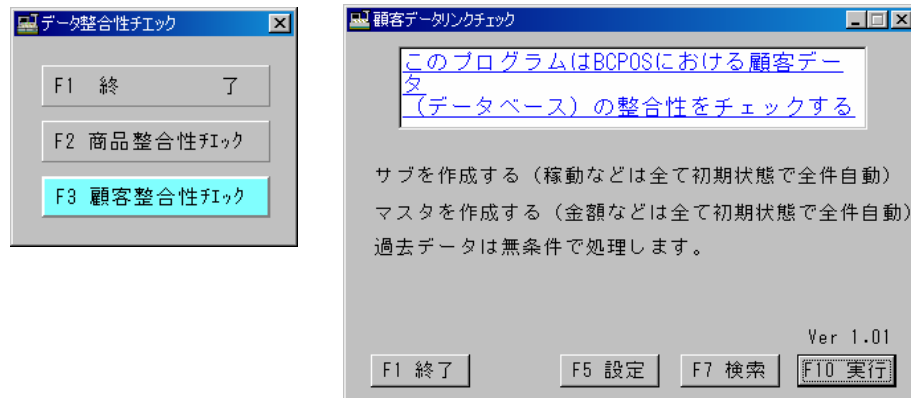
「データ修復終了」と表示が出ても真ん中にあるバーが3本とも  
右までいかなかった場合はもう一度「データ修復」ボタンを押して下さい。

3本全て右まで行きましたら、またテーブル選択をクリックし、その中の  
「MEMBERSUB.DB」を選んでデータ修復を行って下さい。

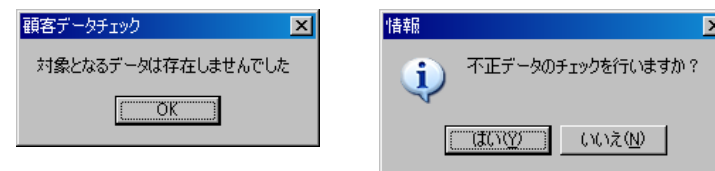
「MEMBERMST.DB」「MEMBERSUB.DB」両方終わりましたら「終了」ボタンを  
押して下さい。

## 顧客データ修復手順②

データベースの中の「F3データ整合性チェック」を押して「顧客整合性チェック」を押して下さい。

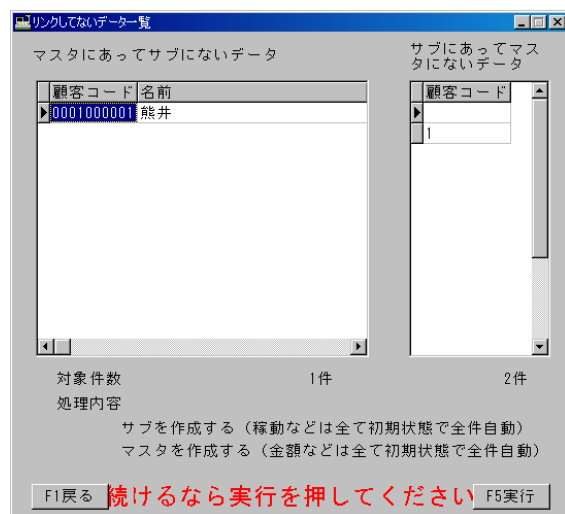


「F10実行」を押して下さい。



「対象となるデータは存在しませんでした」と表示されたら「OK」を押し、「不正データのチェックを行いますか」は「はい」を押して下さい。終了したら「F1終了」を押して下さい。

**※データに異常がある場合は下の画面が表示されます。**



「マスタにあってサブにない」: 稼動のデータが壊れています。

「サブにあってマスタにない」: 顧客データが壊れています。

「F5実行」を押すと初期状態でデータを作成します。

マスタにあってサブにない場合、過去の稼動が無い状態でデータを修復します。

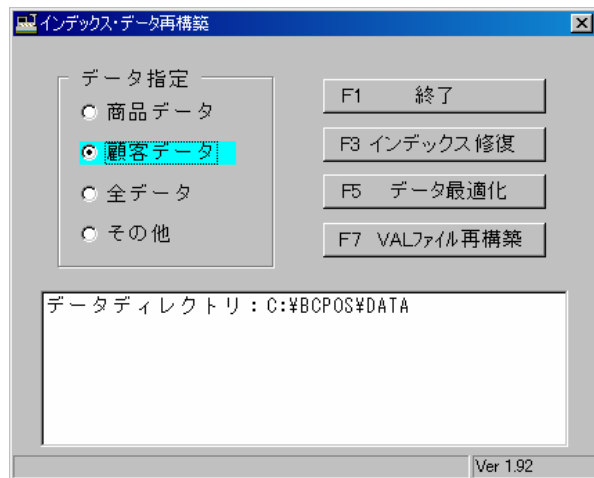
サブにあってマスタにない場合、顧客名や住所が無い状態でデータを修復します。

**※データ修復する、しないに関わらず表示されたデータは既に壊れているのでこのままでは顧客が呼び出せません。**

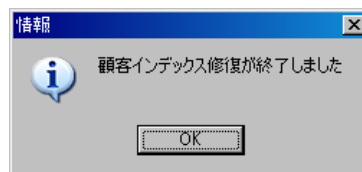
データ修復すれば壊れたデータは直りませんが使用出来るようになります。

## 顧客データ修復手順③

データベースの中の「F2インデックス再構築」を押して下さい。



「顧客データ」にチェックされていることを確認して「F3インデックス修復」ボタンを押して下さい。



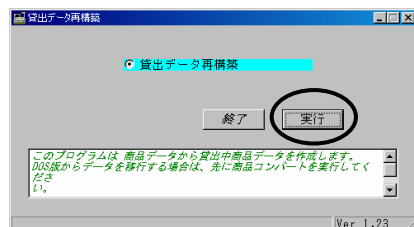
修復が終了の表示が出れば作業終了です「OK」を押して「F1終了」で閉じて下さい。

以上でデータ修復は終了です。レンタル店のみ以下の修復手順に進んでください。

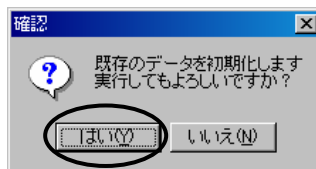
## レンタルデータ修復手順

開始メニュー → F7業種別管理 → F5レンタル管理 → 設定・メンテナンスにチェックを入れF10実行ボタンを押して下さい。

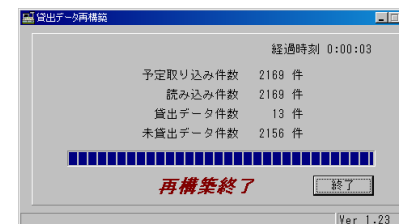
出てきた画面で F5貸出中データ修復を押して下さい。



そのまま「実行」ボタンを押して下さい。



確認画面が出たら「はい」を押して下さい。データの再構築が始まります。  
※データ量によって時間がかかる場合があります。



修復が終わると「再構築終了」とでますので「終了」を押し、開始メニューまで戻して下さい。

以上でデータ修復は終了です。